

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金【令和2年度実施計画分のうち未評価分と令和3年度繰越分】事業実績検証シート

豊後高田市

No	I 交付対象 事業の名称	II 事業の概要 ①目的 ②経費の内容 ③対象 ④事業期間	III 事業の概要(経費内訳)	IV 事業費 (千円)	V 臨時 交付金 充当額 (千円)	VI 事業効果				事業 担当課	
						事業実施のねらい	効果測定 の 手法・対象	具体的な事業効果 及び客観的評価	総合評価 (自己評価)		外部有識者 からの評価
R2 24	【未評価分】 IT企業等誘致 促進事業	① サテライトオフィスを整備しIT企業等の誘致を 推進することで、新たな産業の雇用の場を確 保 ② 補助金(施設整備) ③ 豊後高田市企業誘致推進協議会 ④ 令和3年2月～令和3年3月	○施設改修補助(オフィス昭和の町) ・施設改修 5,214,000円 ・外構整備 660,000円 ・ネット環境整備 13,200円 ・手数料 1,430円 合計 5,888,630円	5,889	4,945	⑥ポストコロナに向け た経済構造の転換・ 好循環の実現	対象者(問合せor 申請のあった企 業)からの意見聴 取(現時点で7社 問合せ有)	・問合せいただいた7社に対し、資料提供や説明 を行った。 ・現在、公募中のため、引き続き効果検証を行 なっていく。 ・R3年度に温泉を併設するオフィス海門荘が整 備され、オフィス昭和の町とともに誘致活動を 行っていく。	未評価 (地方創生テレ ワーク推進交 付金の検証に あわせて令和 6年度末に実 施)	-	商工観 光課
R2 30	地域振興お 買い物促進 事業	① 収入が減少した上、感染防止対策を行う市民 の経済的負担を軽減するとともに、外出の自 粛等により落ち込んだ個人消費の喚起・地域 経済の再活性化を図ることで、地域を一体的 に振興 ② 【地域振興券】・交付金・委託料・事務費 商品券5,000円分を市民22,500人に配布。 高齢者・障がい者・要介護等認定者 (約9300人)は2,500円加算し1人7,500円分 (総額1億3,575万円) 【プレミアム商品券】 補助金 (10,000円+2,000円)×25,000セット販売 (総額3億円) 【共通】 地域振興券とプレミアム商品券の事務委託料 ③ 【地域振興券】住民票のある市民 【プレミアム商品券】実行委員会 (市・商工会議所・商工会) ④ 令和3年3月～令和4年1月	【地域振興券】 ○交付金:(22,421人-不達等110人)×5,000円+ (9,318人-40人)×2,500円= 134,750,000円 - 未換金分2,057,000円= 132,693,000円 ○委託料 データ抽出委託料 450,000円×1.1=495,000円 仕分け業務委託料 643,000円 印刷業務委託料 44,352円 ○通信運搬費 3,170,106円 ○消耗品費 386,181円 ○備品購入費 49,500円 合計 137,481,139円 【プレミアム商品券】 ○補助金:商品券プレミアム分 10,000円×25,000セット×20%≒49,858,083円 【共通経費】 ○事務委託料 10,410,127円 総計 197,749,349円	197,749	165,714	②地域経済への支援 ③住民生活への支援	任意抽出の取扱い 登録事業者82事 業者にアンケート 送付し、そのうち43 事業者より回答	①売り上げは上がった⇒5事業者 ②売り上げは変わらなかった⇒14事業者 ③売り上げは下がった⇒22事業者 ④その他⇒2事業者 という結果であった。 新型コロナウイルスの影響を受ける前と比較して の回答であるため、①+②が③とほぼ同数である ことから、プレミアム商品券の発行による地域 経済活性化の効果は相当程度あったものと推測 される。	ねらいどおりに 相当程度効果 があった	左のとおり	商工観 光課
R2 31	小規模事業 者店舗等家 賃支援事業 【第2次】	① 家賃補助により小規模事業者の事業持続を 支援 ② 補助金(家賃の8割(上限6万円/月)を3カ月 間) ③ 12～2月の売上が前年同月比3割以上減少し ている市内の小規模事業者 ④ 令和3年3月～令和3年6月	家賃補助 92件(法人17件、個人75件)=10,355,400円	10,355	8,659	④家賃支援を含む事 業継続や雇用維持等 への対応	給付対象者92事 業者中、任意抽出 の52事業者にアン ケート送付し、その うち34事業者より 回答	①事業継続に役立った⇒29事業者 ②事業継続に少し役立った⇒3事業者 ③事業継続にはあまり役立たなかった⇒0 ④その他⇒0、回答なし⇒2事業者 ほとんどの事業者が事業継続に役立った、と回 答しており、売上げが落ち込んだ事業者の固 定経費の負担軽減に役立ったと思われる。 なお、補助金を受けた事業者で、廃業した事業 者はない。	ねらいどおりに 相当程度効果 があった	左のとおり	商工観 光課
R2 32	Web予約等シ ステム構築事 業	① 行政のデジタル化や新しい生活様式の実践 が求められている中、市で行う各種事業等に ついて、Webでも予約等ができるシステムを 構築 ② 委託料 ③ 市、市民 ④ 令和3年3月～令和4年2月	委託料の内訳 ・基本サービス利用料 269,500円 ・PDF出力機能追加 61,600円 ・初期導入支援費 894,300円 合計(税込み) 1,225,400円	1,225	983	③住民生活の支援 ⑤「新しい生活様式」 を踏まえた地域経済 の活性化等への対応	システムでの様式 作成数 ・市民向け:104様 式 ・職員向け:42様式	コロナ禍において、市役所への来庁が不要とな り、人との接触がなく、いつでも、どこでも安心し て申請等が可能となることで、新型コロナウイルス 感染のリスクの減少と、デジタル化の推進に寄 与した。 また、市役所の内部事務にも活用することで、行 政効率の向上にもつながった。 ＜市民向け＞ 様式数:104様式 ・ 申請等件数:5,141件 ・健診関係:2,066件(内部活用分を含む) ・ワクチン接種関係届出:622件 ・中小事業者事業継続支援金:156件 ・有害鳥獣捕獲報告:88件 ・児童扶養手当の現況届:286件 等 ＜職員向け＞ 様式作成数:42様式 ・ 申請等件数:5,802件 ・郵便物等差出簿:2,458件 ・公用車運転日報関係:1,583件 ・マイナンバーカード取得状況調査:316件 ・児童扶養手当の現況届:286件 等	ねらいどおりに 相当程度効果 があった	左のとおり	企画情 報課

No	I 交付対象 事業の名称	II 事業の概要 ①目的 ②経費の内容 ③対象 ④事業期間	III 事業の概要(経費内訳)	IV 事業費 (千円)	V 臨時 交付金 充当額 (千円)	VI 事業効果				事業 担当課	
						事業実施のねらい	効果測定 の 手法・対象	具体的な事業効果 及び客観的評価	総合評価 (自己評価)		外部有識者 からの評価
R2 33	高齢者生きがい活動等感染症対策支援事業	① 休止又は縮小等、何らかの影響を受けている高齢者の生きがい活動等に対し、再開や継続に当たり必要となる感染拡大予防のための物品購入に係る経費を助成することにより、生きがい活動等を推進するとともに高齢者等の社会的孤立を抑制 ② 補助金 ③ 地域サロン: 社会福祉協議会 生きがいデイサービス分: 事業受託者 ④ 令和3年4月～令和3年8月	補助金の内訳 ・地域サロン 102か所 × 9,460円 = 964,920円 ・生きがいデイサービス 3か所 × 50,000円 = 150,000円 合計 1,114,920円	1,115	899	①感染拡大の防止 ③住民生活の支援	アンケート、地域サロン102か所中30か所、生きがいデイサービス3か所	・地域サロン 効果測定のためアンケートを行い、29サロンから回答を得た。地域サロンの継続や再開に21サロン(72.41%)から効果があったと回答を得た。 ・生きがい対応型デイサービス 効果測定のためのアンケートを行い、2施設から回答を得た。生きがい対応型デイサービスの継続に2施設とも効果があったと回答を得た。 本事業により、高齢者等の集いの場の継続・再開を支援することができ、高齢者等の社会的孤立を抑えることができた。	ねらいどおりに 相当程度効果 があった	左のとおり	社会福 祉課
R2 34	「地産地消」で取り組む新型コロナウイルス対策推進事業	① 地域特産食材である豊後・米仕上牛をはじめとする食肉と、白ねぎを組み合わせ、学校給食において提供し、新型コロナウイルス感染拡大により低迷する1次産業を支援するとともに、地産地消の推進を強化 ② 補助金 ③ 学校給食運営委員会 ④ 令和3年5月～令和4年3月	補助金の内訳 地元食材購入補助(2,000食分) ・牛肉(豊美牛) 96kg = 673,920円 ・豚肉(米の恵み) 100kg = 118,800円 ・ぶんご合鴨 80kg = 345,600円 ・白ねぎ 70kg = 28,000円 計 1,166,320円-実施主体負担13,320円 = 1,153,000円	1,153	925	②地域経済への支援	給食提供小中学校 13校52名及び4校、1幼稚園の教員から意見集約(感想及び自由意見を集約)	地元産食材の知識、理解を深めるための解説や授業を実施するとともに、食材利用の定着による市内生産者及び小売業者の活性化を図った。 感想・意見等 (おおいた豊美牛) ・肉や脂の味を高評価(味に関すること10/10名) ・柔らかさなど脂の口どけ(食感に関すること5/10名) ・飼育に対するこだわりや栄養面(意見4/10名) (ぶんご合鴨・白ねぎ) ・肉のコクや他の食材との相性が好評(味に関すること42/42名) ・柔らかさに感動(15/42名) ・貴重な食材、今後も食べたいなど(自由意見17/42名)	ねらいどおりに 相当程度効果 があった	左のとおり	農業振 興課
R2 35	花で彩る学校づくり推進事業	① 学校行事が中止されるなか、学校生活の彩や思い出に残る花の記念品を贈ることで、地域特産花きのPRや花き業界を振興 ② 補助金 ③ 花き消費拡大推進協議会 (JA花き部会、花き小売店) ④ 令和3年12月～令和4年3月	補助金の内訳 学校へのフラワーアレンジメントの配布、卒業記念品贈呈 ・各小中学校 計108クラス × 6,448円 × 2回 = 1,392,820円 ・卒業式記念花束贈呈 小中学校対象者326人 × 1,774円 = 578,270円 計1,971,090円-実施主体負担90円 = 1,971,000円	1,971	1,582	②地域経済への支援 ③住民生活の支援	取組小中学校16校に対し調査した結果15校から回答、集約	花のある学校や生活環境づくりの一環として、市内産花きの消費拡大と、知識、理解を深めるとともに、市内小売業者の活性化を図った。 設問1 普段の学校内の花の装飾の取組み ①校舎内 13/15校 ②教室内 12/15校 ③校庭などの植込み 13/15校 ④利用無し 1/15校 設問2 1年間で行事の縮小、中止の有無 ・中止となった行事は遠足やPTA行事、研修会などが少数で発生した。 ・入学式や修学旅行、運動会行事は8割以上の学校で縮小が生じるなど、思い出や記憶に残る行事に影響が出ていた。 設問3 装飾の感想(抜粋意見) ・明るく華やいだ教室、学校づくりに 17/33意見 ・花に関心を持つ行動 8/33意見 ・装飾に感動を与えた 4/33意見 設問4 卒業式の花束(抜粋意見) ・感動と感謝 19/25意見 ・サプライズ、驚き 3/25意見 ・明るく華やいだ記憶に 2/25意見 ・教室でセレモニーができた 1/25意見	ねらいどおりに 相当程度効果 があった	左のとおり	農業振 興課

219,457 183,707

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金【令和3年度実施計画分のうち令和3年度完了分】事業実績検証シート

豊後高田市

No	I 交付対象 事業の名称	II 事業の概要 ①目的 ②経費の内容 ③対象 ④事業期間	III 事業の概要(経費内訳)	IV 事業費 (千円)	V 臨時 交付金 充当額 (千円)	VI 事業効果				事業 担当課		
						事業実施 のねらい	実施計画上 の成果目標	効果測定 の 手法・対象	具体的な事業効果 及び客観的評価		総合評価 (自己評価)	外部有識者 からの評価
R3 1	中小事業者 感染予防促 進事業(令和 3年度)	① 中小事業者における感染予防のための物品 等購入費を支援 ② 交付金(補助率:1/2 補助上限:中小企業 4万円、小規模事業者2万円) ③ 感染予防に取り組む市内中小事業者 ④ 令和3年7月～令和4年1月	交付金の内訳 ・中小企業 (上限40,000円) 20件 760,034円 ・小規模事業者 (上限20,000円) 78件 1,100,184円 合計 98件 1,860,218円	1,860	1,410	①感染拡大 の防止	—	給付対象者98事業者 中、任意抽出の27事 業者にアンケート送 付し、そのうち12事業 者より回答	①補助を受けて感染予防に役立てており、現在 も感染予防に真剣に取り組んでいる⇒12事業者 ②補助は受けたが、現在は感染予防にはあまり 真剣に取り組んでいない⇒0 ③その他⇒0という結果であった。 事業者への感染予防に対する意識啓発と負担 の軽減につながったと思われる。 補助金を受けた事業所で、クラスターが発生し た件数は1件であるが、事業所内で発生したクラ スターではなく、職場外での会食によるものとの こと。	ねらいどお りに相当程 度効果が あった	左のとおり	商工観 光課
R3 2	中小企業再 生支援事業 (令和3年度)	① 新型コロナの影響により売上高等が減少した 中小企業が、経営基盤の強化を図るために 行う、新事業展開、販路開拓等に資する設備 投資に対して補助 ② 補助金(補助率:1/3 補助上限100万円) ③ 経営基盤強化のための設備投資を行う市内 事業者 ④ 令和3年6月～令和4年3月	・飲食業1,000千円(店頭販売と商品メニュー開発による新 規事業展開と販路開拓) ・食品販売業1,000千円(新規設備投資により商品供給の 安定化による売上拡大とオンライン販売強化による新規 顧客の獲得) ・飲食業796千円(店頭販売と商品メニュー開発による新 規事業展開と販路開拓) ・小売業1,000千円(PR活動の強化による販路拡大) ・建設業346千円(新規設備導入により作業効率化を図 り、販路を拡大) 合計 5者 4,142,000円	4,142	3,140	⑥ポストコ ロナ向け た 経済構造 の 転換・好循環 の実現	—	アンケート、対象:申 請事業者5社中5社	・この補助金を活用したことで事業継続に役立っ た(5/5) ・コロナ以前と比較して、売り上げが上がった、 または同等に回復した。(5/5)	ねらいどお りに相当程 度効果が あった	左のとおり	商工観 光課
R3 3	新型コロナウ イルス感染拡 大防止事業 (令和3年度 PCR検査体 制整備)	① 市民の安心安全の確保及び地域医療の体制 整備を図るため、PCR検査の検体を回収する 施設の整備・運営に対して補助 ② 補助金 ③ 豊後高田市医師会 ④ 令和3年4月～令和4年3月	◆PCR検体回収センターの運営にかかる経費 ・プレハブ2棟・ポリタンク・運搬代(4月～12月)803,879円 ・水道設備撤去一式 7,700円 ・協力医師・看護師等謝礼 360,000円 ・電気代・水道代 23,844円 ・公用携帯電話代 64,307円 ・感染予防用品等一式 418円 ・感染性廃棄物処理経費 22,110円 ・事務局手数料 216,000円 合計 1,498,258円	1,498	1,413	①感染拡大 の防止	—	(実績)検査検体回収 センターで15件回収	・年度の途中からは市内の医療機関等でPCR検 査の実施体制が整ってきたこともあり、PCR検査 検体回収センターの利用者は限られたが、検査 が必要と判断された方が市内の検体回収セン ターに検体を持ち込むことで、住民の利便性が 図られた。	ねらいどお りに相当程 度効果が あった	左のとおり	健康推 進課
R3 4	中小事業者 事業継続支 援事業	① コロナ禍により売上等が減少した事業者に対 し、減少した差額分を市独自の支援金として 交付 ② 補助金 ③ 8～9月の売上が前年又は前々年の同月比 20%以上減少した市内事業者(県の時短要 請協力金(第3期・第4期)の受給者は対象外) ④ 令和3年10月～令和4年1月	補助金の内訳 ・法人 上限20万円 112件 22,266,000円 ・個人 上限10万円 183件 17,890,000円 合計 295件 40,156,000円	40,156	29,362	④事業継続 のための支 援金	—	給付対象者295事業 者中、任意抽出の63 事業者にアンケート 送付し、そのうち45事 業者より回答	①事業継続に役立った⇒33事業者 ②事業継続に少し役立った⇒8事業者 ③事業継続にあまり役立たなかった⇒2事業者 ④その他⇒0、回答なし⇒2事業者 ということで、ほとんどの事業者が事業継続に役 立った、と回答している。 売り上げが落ち込んだ中小事業者の事業継続 に効果があったと思われる。 なお、補助金を受けた事業者で、廃業した事業 者はない。	ねらいどお りに相当程 度効果が あった	左のとおり	商工観 光課
R3 5	新型コロナウ イルス感染症 緊急対策特 別資金利子 補給事業(令 和3年度)	① 新型コロナの影響により売上高等が減少した 中小事業者等への資金繰り支援による事業 持続 ② 県の緊急対策特別資金融資(利率1.3%) 100万円までの利子全額を3年間補給(R2 年度制度開始) ③ 県の緊急対策特別資金融資を受ける市内の 中小事業者 ④ 令和3年4月～令和4年2月	補助金の内訳 利子補給 45件 2,498,900円 ・R2年度からの継続分 23事業者 1,919,400円 ・R3年度新規申請分 22事業者 579,500円	2,499	2,357	④事業継続 のための融 資に対する 利子補給	—	給付対象者45事業者 中、任意抽出の18事 業者にアンケート送 付し、そのうち8事業 者より回答	①事業継続に役立っている⇒5事業者 ②事業継続に少し役立っている⇒3事業者 という結果であり、事業継続に効果があったと思 われる。 なお、利子補給を受けた事業者で、廃業した事 業者はない。	ねらいどお りに相当程 度効果が あった	左のとおり	商工観 光課

No	I 交付対象 事業の名称	II 事業の概要 ①目的 ②経費の内容 ③対象 ④事業期間	III 事業の概要(経費内訳)	IV 事業費 (千円)	V 臨時 交付金 充当額 (千円)	VI 事業効果					事業 担当課	
						事業実施 のねらい	実施計画上 の成果目標	効果測定 の 手法・対象	具体的な事業効果 及び客観的評価	総合評価 (自己評価)		外部有識者 からの評価
R3 6	地方創生テレワーク推進交付金	① 感染拡大を契機にテレワークが加速していることから、IT企業を誘致し地方への流れを促進することで活力ある地域社会の実現を図るため、サテライトオフィスの整備及び誘致活動に対して助成 ② 補助金 ③ 豊後高田市IT企業誘致推進協議会 ④ 令和3年8月～令和4年3月	補助金の内訳 ○オフィス昭和の町 1,476,130円 ・備品整備 915,695円 ・ケーブル工事 53,900円 ※家賃 150,000円 ※電気・水道・通信費 40,110円 ※エアコン取付 273,900円 ※雑費 42,525円 ○オフィス海門荘 36,390,078円 ・施設改修 32,203,918円 ・備品整備 3,738,680円 ・ケーブル工事 26,400円 ※ダイニングテーブル 419,760円 ※雑費 1,320円 ○動画作成 600,770円(※うち770円) 合計 38,466,978円 テレワーク推進交付金対象事業費 37,538,592円*1/2=18,769,295円 ※対象外計928,385円	38,467	17,889	⑥ポストコロナに向けた経済構造の転換・好循環の実現	2024年度末時点のKPI ・サテライトオフィスを利用する企業数 3社 ・サテライトオフィスの利用者数 25人 ・移住者数 80人	2021年度末時点のKPI ・サテライトオフィスを利用する企業数 0社 ・サテライトオフィスの利用者数 0人 ・移住者数 327人	・問合せのあった7社に対して、資料提供や説明を行った。 ・現在、公募中のため、引き続き効果検証を行っていく。 ・入居者が決定するまでの間は、コワーキングスペースとして活用(現時点までの利用者数:延べ120人)	未評価 (地方創生テレワーク推進交付金の検証にあわせて令和6年度末に実施)	-	商工観光課
R3 8	子育て世帯等臨時特別支援給付金事業(市独自)	① 新型コロナウイルス感染症の影響を受けた子育て世帯を支援するため、国が行った10万円の給付金の対象ではなかった児童手当の特例給付相当の収入がある者に対して、市独自で10万円を支給 ② 扶助費、事務費 ③ 国の10万円給付金の対象外者 ④ 令和4年1月～令和4年3月	・扶助費 100千円×65人=6,500,000円 ・事務費(郵便料) 3,024円 合計 6,503,024円	6,503	5,568	③住民生活の支援	全対象者への給付	アンケート、支給世帯37件:13件の回答 支給対象者65名	市で把握可能な対象者にはすべて支給できた。 アンケートでは、国の給付金の対象から外れた所得層であったが、約77%の世帯がコロナの影響を受けており、すべての世帯がこの給付金が生活の支援となったと回答した。	ねらいどおりに相当程度効果があつた	左のとおり	子育て支援課
R3 9	新型コロナウイルス感染拡大防止事業(抗原検査促進)	① 感染症のまん延時、濃厚接触者以外の市民で、感染の不安がある方を対象に抗原検査キットを配布、抗原検査を実施することで、感染拡大の未然防止 ② 需用費 ③ 濃厚接触者以外で感染の不安がある方 ④ 令和4年1月～令和4年3月	医薬材料費 抗原検査キット購入費 3,300検体 5,181,000円	5,181	3,737	①感染拡大の防止	1週間の人口10万人当たり新規感染者数が15未満	(実績)令和4年1月から3月まで2431個使用 事業効果測定として配布施設の代表者6名に聞き取り	・感染者が確認され休校措置を実施した小中学校で、措置解除の際に抗原検査キットを配布して一斉に検査を実施し、感染拡大防止の取り組みを行った。検査により無症状の陽性者が確認されたが迅速に医療機関受診を行うことでタイムリーな感染拡大防止の対応ができた。 ・保育所でも同様に検査を行うことで安心して保育業務に従事することができ、園の運営を停滞させることなく継続できた。 ・感染者動向では令和4年3月末1週間平均での市内の人口10万人当たり新規感染者は28.2人であり、検査だけではなく一人一人の感染予防対策の徹底が必要であるという課題もあった。	ねらいどおりに相当程度効果があつた	左のとおり	健康推進課

100,306 64,876